

# 植物防疫情報第6号

平成30年3月28日  
岡山県植物防疫協会  
岡山県病害虫防除所

## 麦類赤かび病の防除の徹底について

本年産麦類の生育は、現在のところ平年よりも遅めに推移しています。平年は、11月第4半旬播種の麦の穂揃期（8～9割が出穂（穂先の粒が見える状態）した時期）は、4月の第4半旬頃ですが、平年より遅れることが予想されます。広島地方気象台の3月22日発表の季節予報（1か月予報）によると、降水量は平年並または少ないとされているものの、気温は平年より高く、本病の感染及び発病をやや助長する条件となります。本病は開花期（大麦では穂揃期）から乳熟期に感染し、開花期以降に曇雨天が続く場合には発生が助長されます。**本病に対する薬剤散布は病原菌の感染前が効果的であり、感染後では効果が劣りますので、散布適期を逃さないよう万全を期して下さい。**

### (1) 薬剤による防除法

**薬剤散布は大麦では穂揃期とその7～10日後、小麦では開花最盛期頃（出穂7日後頃）とその7～10日後の2回行う。**下表から薬剤を選定し、農薬使用基準に従って散布する。

### (2) 防除上の参考事項

- ・大麦の穂揃期または小麦の開花最盛期から20日を過ぎると防除効果が低下する。
- ・大麦では2回目の薬剤散布の方が防除効果が高いため、1回目の散布時期を逃し、すでに大麦の穂揃期を過ぎている場合でも、速やかに薬剤散布を行う。
- ・小麦を除く麦類では、トップジンM粉剤、水和剤及びゾルでは出穂期以降1回しか使用できないので注意する。
- ・収穫後は速やかに乾燥する。

### (3) 麦類赤かび病の防除薬剤

(H29.3月現在)

薬剤名	農薬使用基準		
	散布量・希釈倍数	時期	回数
サルファーズル	400倍	-	-
コロナフロアブル	400倍	-	-
イオウフロアブル	400～800倍	-	-
トップジンM粉剤DL	3～4kg/10a(小麦) 4kg/10a〔麦類(小麦を除く)〕	収穫14日前まで	小麦: 3回以内(出穂期以降は2回以内), 麦類(小麦を除く): 3回以内(出穂期以降は1回以内)
トップジンM水和剤	1,000～1,500倍	収穫14日前まで(小麦) 収穫30日前まで〔麦類(小麦を除く)〕	
トップジンMゾル	1,000～1,500倍(小麦) 1,500倍〔麦類(小麦を除く)〕	収穫14日前まで	
トリフミン水和剤	1,000～2,000倍	収穫14日前まで	3回以内
トリフミン乳剤(小麦)	1,000倍	収穫3日前まで	
シルバキュアフロアブル	2,000倍	収穫7日前まで(小麦) 収穫14日前まで(大麦)	2回以内
ストロビーフロアブル	2,000～3,000倍	収穫14日前まで	3回以内
ベルコート水和剤(小麦)	1,000～2,000倍	収穫21日前まで	3回以内(出穂期以降は1回以内)
ワークアップ粉剤DL	3kg/10a	収穫7日前まで	3回以内
ワークアップフロアブル	2,000倍	収穫7日前まで	
チルト乳剤25	1,000～2,000倍	収穫3日前まで(小麦) 収穫21日前まで(大麦)	小麦:3回以内 大麦:1回以内

**農薬の使用に当たっては農薬使用基準を厳守するとともに、ドリフトに注意するなど、安全・適正に使用するようお願いします。**

この情報は、岡山県病害虫防除所ホームページでも公開しています。

アドレスは、[http://www.pref.okayama.jp/soshiki/kakuka.html?sec\\_sec1=239](http://www.pref.okayama.jp/soshiki/kakuka.html?sec_sec1=239) です。

